



北九州商工会議所 経営動向調査結果(平成30年度第4四半期)

2期連続で主要3項目すべてがマイナス水準に 次期予測はすべて改善

【調査機関】北九州商工会議所
 【調査期間】平成31年2月18日～3月1日
 【参考】調査開始日(2/18)の株式及び外国為替市場日経平均株価終値21,281円85銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値110円60銭
 【回答数】450社(製造業97社・非製造業353社)
 【調査方法】郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式

本件に関するお問い合わせは、
北九州商工会議所 産業振興課
 (TEL:541-0185)

概況

【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】 2期連続で主要3項目すべてがマイナス水準。次期は主要3項目すべて改善を予測。

【業種別】 業況判断は運輸業、建設業がプラス水準。売上高は小売業、サービス業が改善。経常利益はすべての業種でマイナス水準。

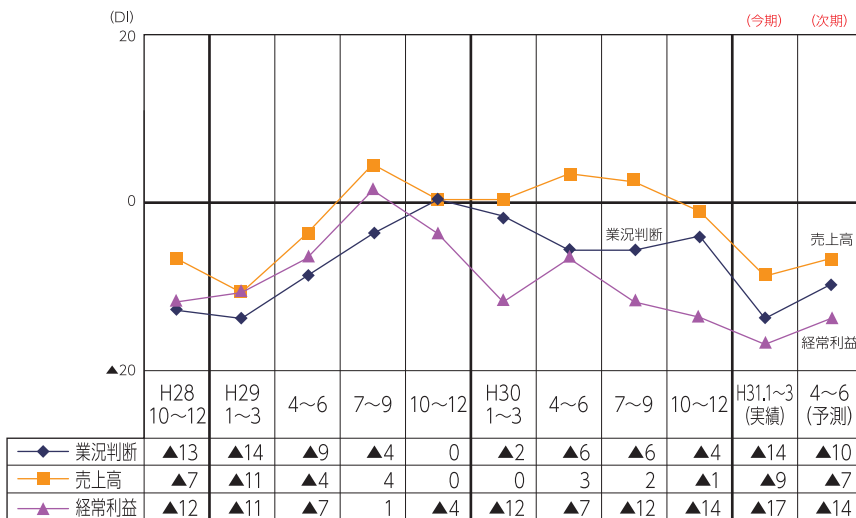
【規模別】 大規模企業は売上高、経常利益が改善。中規模企業、小規模企業はすべて下降。次期は小規模企業がすべて改善を予測。

※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。
 ※文章中の規模は中小企業基本法に基づく(大規模→大企業、中規模→中小企業、小規模→小規模企業者)

主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

< 今期実績 > (1-3 月期) ・ 主要 3 項目すべてが下降。

< 次期予測 > (4-6 月期) ・ マイナス水準ではあるが、主要 3 項目すべてが改善予測。

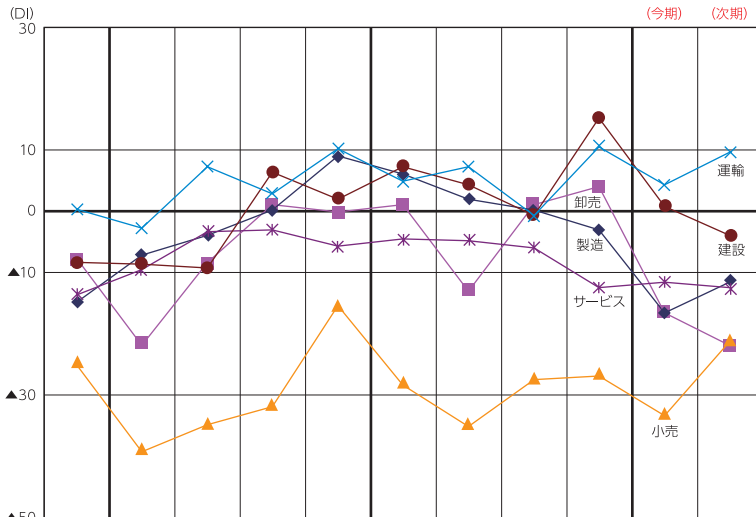


	12月調査時の 1~3月期予測	1~3月期実績
業況判断	▲6	▲14
売上高	▲1	▲9
経常利益	▲9	▲17

業種別

業況判断DI

< 今期実績 > (1-3 月期) ・ 運輸業、建設業がプラス水準。サービス業は改善。
 < 次期予測 > (4-6 月期) ・ 製造業、小売業、運輸業が改善を予測。



	H28 10~12	H29 1~3	4~6	7~9	10~12	H30 1~3	4~6	7~9	10~12	H31.1~3 (実績)	4~6 (予測)
製造	▲14.6	▲6.8	▲3.4	1.1	10.3	7.2	2.9	1.0	▲2.3	▲16.5	▲11.3
卸売	▲7.3	▲22.2	▲9.3	2.0	0.0	1.9	▲12.8	2.0	5.1	▲16.7	▲22.2
小売	▲25.4	▲40.3	▲35.8	▲32.5	▲15.4	▲29.0	▲36.1	▲28.0	▲27.3	▲34.3	▲21.4
運輸	0.0	▲2.2	8.5	3.7	11.7	5.9	8.5	0.0	11.8	5.5	10.9
サービス	▲13.4	▲9.2	▲2.6	▲2.4	▲5.0	▲3.9	▲4.2	▲5.4	▲12.4	▲11.4	▲12.2
建設	▲7.8	▲8.1	▲10.0	7.4	3.0	8.6	5.4	0.0	16.7	1.7	▲3.3

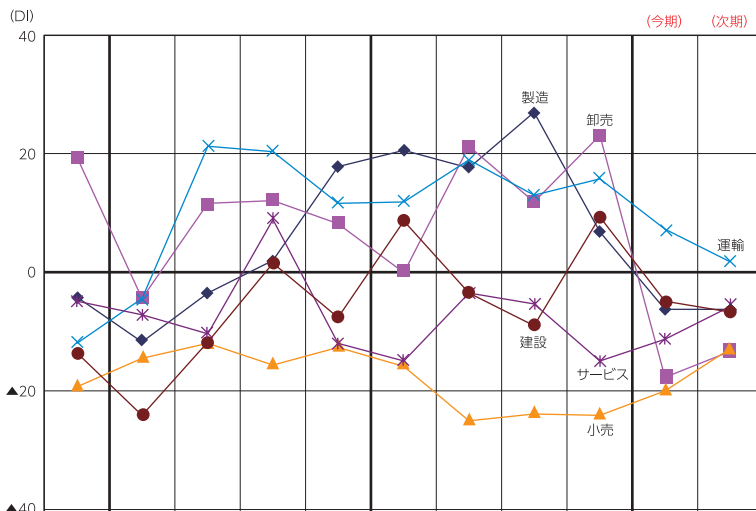
〔企業の声〕

- 市内大型店の閉店セールが影響して、いつもに比べて街中の人通りは増えている。ただし、都心部のみ一極集中している【サービス業(その他サービス)大規模】
- 米中貿易摩擦など世界経済の不透明感が強まる【運輸業(海運業)大規模】
- 次期はお中元シーズンに向かうため、上昇予測【製造業(飲食料品)中規模】
- 全国的には、昨年末から産業機械の需要が減少傾向にある。北九州市は良い時も悪い時も遅れて影響が出るので、今後売り上げ減少に転じる可能性もある【卸売業(金属製品・機械機具)中規模】
- 暖冬のせいか婦人冬物衣料の問屋での在庫が目立つ【小売業(織物・衣服)小規模】

	12月調査時の1~3月期予測	1~3月期実績
製造	1.1	▲16.5
卸売	▲7.7	▲16.7
小売	▲30.3	▲34.3
運輸	2.0	5.5
サービス	▲11.6	▲11.4
建設	14.8	1.7

売上高DI

< 今期実績 > (1-3 月期) ・ 小売業、サービス業が改善。
 < 次期予測 > (4-6 月期) ・ 卸売業、小売業、サービス業が改善予測。



	H28 10~12	H29 1~3	4~6	7~9	10~12	H30 1~3	4~6	7~9	10~12	H31.1~3 (実績)	4~6 (予測)
製造	▲4.2	▲11.7	▲3.4	2.1	17.8	20.6	17.6	27.0	6.8	▲6.2	▲6.2
卸売	19.5	▲4.4	11.6	12.0	8.2	0.0	21.3	11.8	23.1	▲17.8	▲13.3
小売	▲19.4	▲14.5	▲11.9	▲15.6	▲12.8	▲15.9	▲25.0	▲24.0	▲24.2	▲20.0	▲12.9
運輸	▲12.0	▲4.4	21.3	20.4	11.7	11.8	19.1	13.0	15.7	7.3	1.8
サービス	▲5.0	▲7.3	▲10.3	8.9	▲12.1	▲15.0	▲3.4	▲5.4	▲14.9	▲11.4	▲5.7
建設	▲13.7	▲24.2	▲11.7	1.5	▲7.6	8.6	▲3.6	▲9.0	9.3	▲5.0	▲6.7

〔企業の声〕

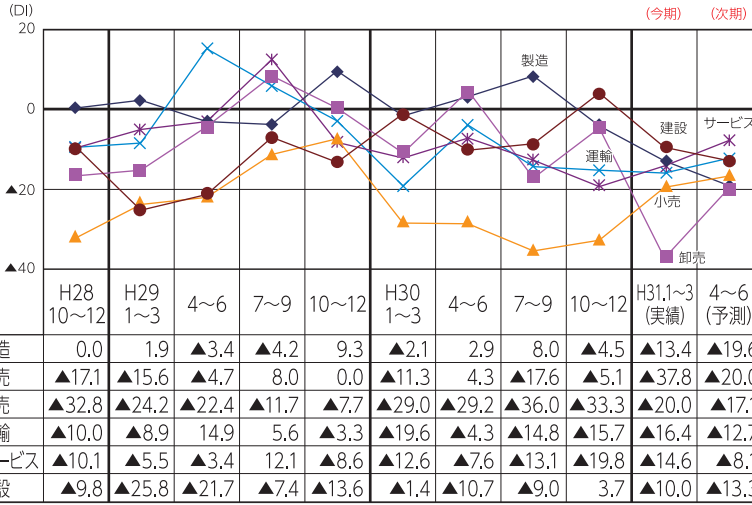
- 今春から秋にかけて店舗のリニューアルを順次予定しており、売り上げの増加を見込んでいる【小売業(デパート・スーパー)大規模】
- 売上数量の減少が要因。自動車用エンジンがモーターに置き換わっている点、及び原子力発電のタービンの需要が減少している事が一因【卸売業(金属製品・機械機具)中規模】
- キャンペーンを実施した効果があり、前年度と比べ上昇【サービス業(その他のサービス業)中規模】
- 店舗移転による客の増加、それに伴う売上数量の増加【小売業(その他の小売業)小規模】
- 取引先のシステム更新で売り上げ増【サービス業(情報サービス)大規模】

	12月調査時の1~3月期予測	1~3月期実績
製造	14.8	▲6.2
卸売	5.1	▲17.8
小売	▲15.2	▲20.0
運輸	7.8	7.3
サービス	▲13.2	▲11.4
建設	1.9	▲5.0



経常利益DI

< 今期実績 > (1-3 月期) ・ 小売業、サービス業が改善するも、すべての業種でマイナス水準。
 < 次期予測 > (4-6 月期) ・ 卸売業、小売業、運輸業、サービス業が改善予測。



〔企業の声〕

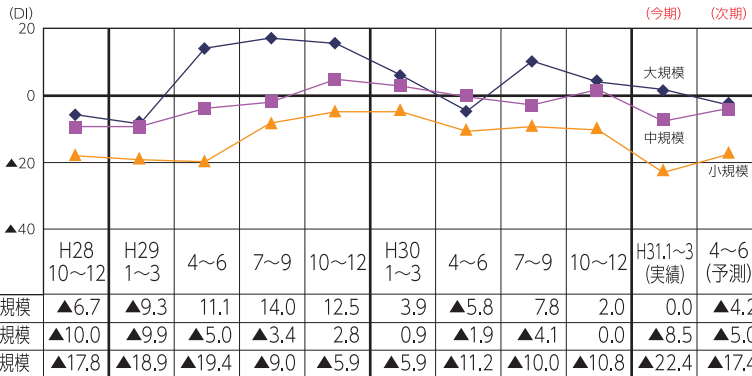
- 経費増と値上げに伴う受注の減少【製造業(印刷)中規模】
- 人件費の負担が増加【卸売業(文具・事務用品)中規模】
- 売上高は横ばいだが、利幅の大きい商品が売れたため、利益率は若干上昇【小売業(書籍・文具)小規模】

	12月調査時の1~3月期予測	1~3月期実績
製造	0.0	▲13.4
卸売	▲2.6	▲37.8
小売	▲21.2	▲20.0
運輸	▲13.7	▲16.4
サービス	▲14.0	▲14.6
建設	1.9	▲10.0

規模別

業況判断DI

< 今期実績 > (1-3 月期) ・ すべての規模で下降。
 < 次期予測 > (4-6 月期) ・ 中規模企業、小規模企業が改善、大規模企業で下降を予測。



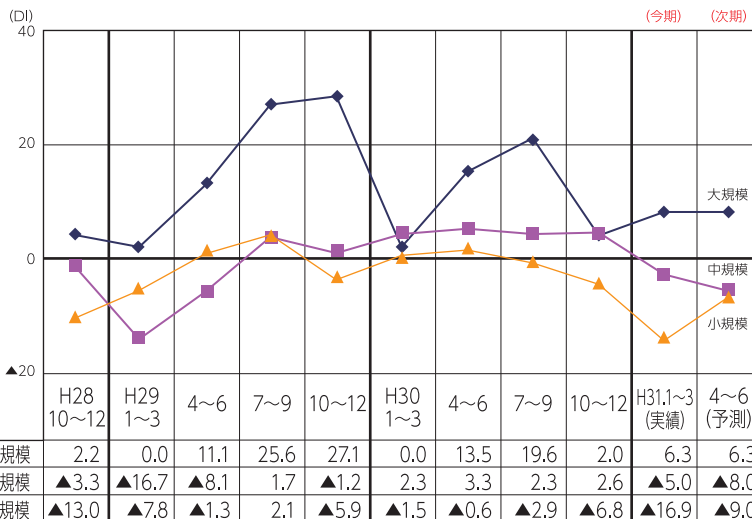
〔企業の声〕

- 半導体の価格競争が激化しており、業界全体の景気が下降傾向【製造業(機械金属)大規模】
- 他の業種に人材が流れ、サービス業の人材不足は深刻【サービス業(その他のサービス業)中規模】
- 市外企業の参入が相次ぎ、地域性がなくなってきている【建設業(その他の建設業)小規模】

	12月調査時の1~3月期予測	1~3月期実績
大規模	6.0	0.0
中規模	▲4.1	▲8.5
小規模	▲12.5	▲22.4

売上高DI

< 今期実績 > (1-3 月期) ・ 大規模企業が改善。中規模企業、小規模企業が下降。
 < 次期予測 > (4-6 月期) ・ 小規模企業が改善予測。大規模企業はプラス水準を維持。



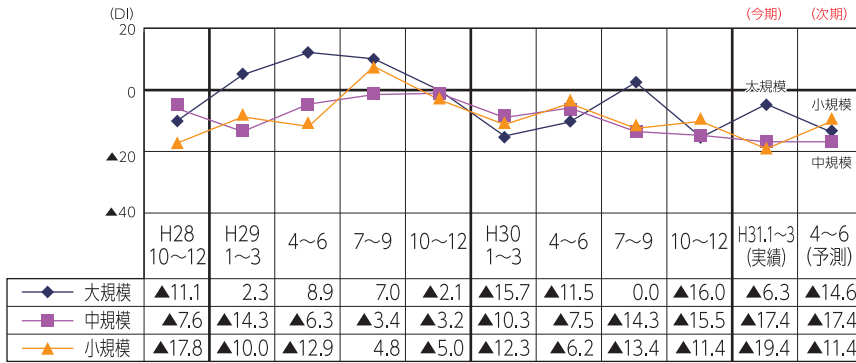
〔企業の声〕

- 店舗面積を2倍に広げ、リニューアルオープンしたことで売上数量が増加。調剤部門は処方箋一枚あたりの単価は国の方針により下がったものの、受付枚数を増やし維持している【小売業(医薬品・化粧品)大規模】
- 人手不足による業務量減が大きい。加えて、季節柄乗務員が体調不良になることも多かったので、さらに悪かった【運輸業(旅客運送)中規模】
- 運賃値上げの交渉をしており、それが成立する予定【運輸業(貨物運送)小規模】
- 顧客の高齢化に伴い購入頻度が低下傾向【小売業(飲食品)小規模】

	12月調査時の1~3月期予測	1~3月期実績
大規模	16.0	6.3
中規模	▲3.1	▲5.0
小規模	▲4.5	▲16.9

経常利益DI

< 今期実績 > (1-3 月期) ・大規模企業が改善。中規模企業、小規模企業が下降。
 < 次期予測 > (4-6 月期) ・小規模企業が改善予測。大規模企業は下降予測。



〔企業の声〕

- 諸経費の見直し、合理化を進め、経常利益は増加見込み【サービス業(旅館・ホテル)大規模】
- 諸経費と人件費の増加(今年度随時採用で20人増)で、増収でも経費増加分を賄えないくらい負担が増えており、利益が減少している【運輸業(貨物運送)中規模】
- 原材料費の上昇が経営を圧迫している【製造業(窯業・土石)小規模】

	12月調査時の 1~3月期予測	1~3月期実績
大規模	▲6.0	▲6.3
中規模	▲10.9	▲17.4
小規模	▲8.0	▲19.4

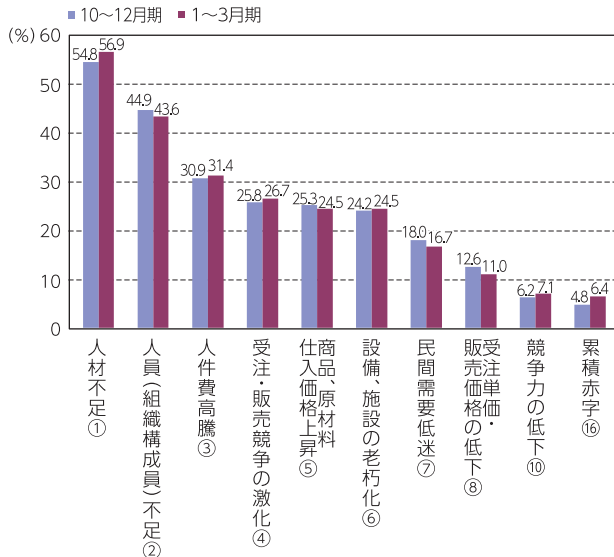
その他項目DIの動向

	平成29年			平成30年			平成31年		
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12月	1~3月(実績)	4~6月(予測)
①販売価格・受注単価(「上昇」-「下降」)	▲0.7	▲0.9	1.8	5.2	8.7	10.3	4.6	4.3	4.1
②資金繰り(「楽」-「苦しい」)	9.0	7.8	7.4	7.7	6.7	7.3	6.2	7.0	7.8
③借入難易度(「容易」-「困難」)	27.6	28.6	25.1	24.3	24.7	24.2	22.2	23.8	24.2
④設備投資(「増加」-「減少」)	2.8	5.0	1.2	2.8	9.0	6.1	2.1	▲2.2	0.3
⑤雇用(「過剰」-「不足」)	▲35.9	▲45.1	▲46.8	▲48.2	▲45.2	▲47.4	▲48.2	▲50.9	▲35.9
⑥在庫(「過剰」-「不足」)	7.5	5.6	0.5	6.1	6.8	5.3	9.5	4.8	3.9
⑦所定外労働時間(「増加」-「減少」)	▲0.9	▲1.5	5.9	7.7	▲1.1	▲0.5	2.8	▲4.3	▲6.4

- ①販売価格・受注単価)……6期連続のプラス水準。次期もプラス水準予測
- ②資金繰り)……大きな変化なし
- ③借入難易度)……大きな変化なし
- ④設備投資)……減少傾向が続く、マイナス水準へ下降

- ⑤雇用)……人手不足感の高い状況が続いている
- ⑥在庫(製造業・卸売業・小売業のみ回答)……前期から減少
- ⑦所定外労働時間)……大幅に減少。次期も減少予測

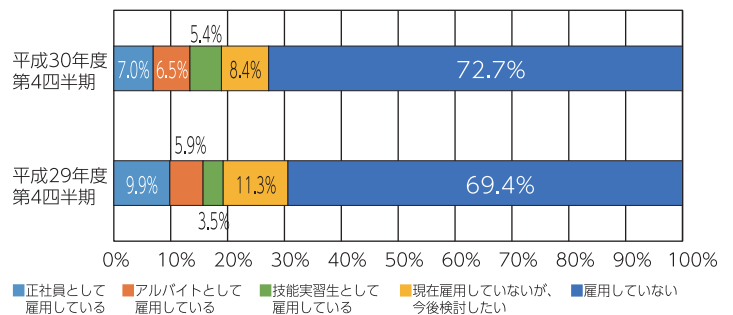
経営上の問題点上位10項目(複数回答)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

〔付帯調査〕外国人の雇用について

外国人の雇用について (%)



「雇用していない」と回答した企業が72.7%と最も多い。「正社員・アルバイト・技能実習生として雇用している」との回答が18.9%と前年同期の調査(19.3%)と大きな変化はない。人手不足は企業が抱える経営上の問題点ではあるが、課題も多く、外国人を雇用する割合は増加していないことが分かった。

〔企業の声〕

- 外国人3名を雇用。通関業務のやり取りなど言葉に関してメリットがある【運輸業(海運業)中規模】
- 購買部の正社員として外国人を雇用している。原材料輸入などの業務を担当してもらっている。外国人雇用については、採用ルートの一つとして今後も良い人材がいれば採用する【製造業(窯業・土石)中規模】
- インバウンド対応にメリットがあるものの、接客のルール、マナーを正確に伝えていくことに難しさを感じる【小売業(デパート・スーパー)大規模】
- 言葉の壁があり、規則・マニュアルなどの理解と接客マナーの向上に時間を要する【小売業(デパート・スーパー)大規模】
- 外国人雇用について他社は雇用しているが、指導が難しいと聞くため検討はしていない【卸売業(その他の卸売業)小規模】
- 日本語の習得が未熟なため、現場従事に必要な安全教育や資格を取得するのに当たり筆記試験に不安がある【建設業(設備工事)小規模】